

No.	章	節	節名	ページ	記載箇所	追加修正等の内容	理由
1	1	3	連携・交流の推進	第1章-10ページ	現状と課題	…これらまちの誇り、貴重な財産を活かし、各関係団体等と協力、連携を深め、 雇用創出につながる地場産業の振興、地域の魅力を活かした観光振興、生活環境の充実、移住・定住の促進等 、活力ある地域づくりに磨きをかけて取り組むことが重要です。このため、第2次の 下関市 連携中枢都市圏ビジョンを策定し、 引き続き市民の皆様誰もが安心して暮らすことができる下関まちを末永く持続していくため、経済成長の進展を図り、高次の都市機能を整備し、市民の生活関連サービスの向上に積極的に取り組んでまいりますの取り組みを進めていくことが必要です。	より適切な表記となるよう修正したもの
2	1	3	連携・交流の推進	第1章-10ページ	現状と課題	また、飛躍的な経済成長や地域社会の活力向上が容易には見込めない中、定住人口の維持・創出が求められており、新規移住者への支援だけでなく、市民の市外流出を防ぐ取り組みに加えて、 さらに移住・定住者のライフスタイルやニーズの多様性が高まる中、「定住人口」でも観光客等の「交流人口」でもない、地域と多様に関わる「関係人口」に着目し…	より適切な表記となるよう修正したもの
3	1	3	連携・交流の推進	第1章-10ページ	基本方向	○携中枢都市圏の 中心市としてを形成し 、経済成長のけん引、高次の都市機能の集積、生活関連機能サービスの向上に向けて、 第2次 連携中枢都市圏ビジョンの取り組みを進めるほか、 中枢中核都市としての機能強化に努めます。	より適切な表記となるよう修正したもの
4	5	2	公共交通の整備	第5章-4ページ	現状と課題	… 市街地においては、非効率な公共交通網の見直しや効率化を図り、都市拠点と地域拠点間を結ぶ交通軸を形成し、より利便性の高い効率的なサービスに改善する必要があります。また、鉄道駅施設のバリアフリー化やバス停待合施設環境の快適化等における利用障壁を解消し、安全・安心かつ快適な利用環境の整備を促進する必要があります。	表現の明確化のため

No.	章	節	節名	ページ	記載箇所	追加修正等の内容	理由
5	5	2	公共交通の整備	第5章-5ページ	各事業の方向	<p>1. バス交通等 (1)バス交通等の対策 バス交通については、交通系ICカード導入等、利用しやすいサービスの提供を促進し、市民の移動手段として必要不可欠なバス路線を維持・確保していくとともに、地域住民等の意見を聞きながら、利用率の低い路線では運行の見直しを随時行い、バス交通維持のため住民意識の醸成に努め、利用促進を図ります。 また、拠点内や各拠点間を連絡し各地域間の移動の効率化を図るためにバス路線網を見直すとともに、安全かつ快適な乗り継ぎなど交通結節機能の強化を図り、交通環境の充実に取り組めます。</p>	表現の明確化のため
6	5	2	公共交通の整備	第5章-5ページ	各事業の方向	<p>2. 鉄道交通 (1)鉄道利用者の利便性向上 …… また、鉄道駅のバリアフリー化等、において利用しやすい環境整備を行い、主要駅における他の交通機関とも安全かつ快適な乗り継ぎが行えるなど、交通環境の充実に取り組めます。</p>	表現の明確化のため
7	6	2	公衆衛生の充実	第6章-8ページ	各事業の方向	<p>2. 動物の愛護及び管理の推進 (1)動物の愛護及び管理の推進 ～(略)～ 犬の飼い主に対するリード(引き綱)装着指導等、適正飼養の普及啓発を図ります。また、下関市動物愛護管理センター内のしつけ直し広場を活用した成犬の譲渡促進や殺処分数の多い野猫への対策として、「ねこの適正飼養に関するガイドライン」を有効活用し、殺処分がなくなることを目標として、当面殺処分その減少を図ります。さらに、教育分野との連携により、「学校飼育動物に関する教室」や「いのちの教室」等を通じて、児童が命の大切さを知り、生きる力を育むことのできる機会を提供します。なお、これら取組はボランティア団体等と一層の連携を図りつつ行います。</p>	当市は、動物愛護や適正飼養の推進に係る普及啓発活動や犬や猫の譲渡の取組を実施する際に、既にボランティア団体等と連携を図っている中、今後ともその緊密な連携を図ることや、殺処分をなくすよう取り組むことは必要であることから、委員からのご意見を踏まえ、追加修正するもの。なお、「殺処分0」ではなく、「殺処分がなくなることを目標として」との表現としたのは、「動物の愛護及び管理に関する法律」の条文上の記載を参考にしたものです。
8	全般					その他、後期基本計画(素案)の全般にわたって、語句について整理。	